

HP を読み、自分の症状がヘルペスだと
気がつき来院され方の手記。

「体と心が連動していることを実感(ヘルペス手記)」

匿名希望 46 歳

2016 年 3 月 4 日

平成 27 年 8 月に「起床時の両足裏のこわばり」「右股関節痛」「右臀部の固くなったような痛み」「右足脛痛」が現れました。その 2 年程前の夏にも同様の症状を経験しており、その時に MRI 検査をしたところ異常はなく、そのまま放置していたらその冬には自然治癒していました。これは、単に冷房による冷えと運動不足が原因だと自己判断しておりました。今回も日常生活には支障はないレベルだし、冷房の冷えが原因だと思っていたのですが、体の疲れや、精神的ストレスを強く感じると、足のあちらこちらに「チクチク」「ジンジン」する痛みが起こり『この痛みは何??』と、とても不安になりました。そして症状をキーワードにしてネット検索していくうちに、松本医院の HP にたどりつきました。患者さんの手記を読んでいくうちに、自分もヘルペスによる症状だと思い始めました。手記には痛みを具体的に表現する言葉や症状、経過を書いているので、とても分かりやすく、私の不安な気持ちが薄らいでいきました。来院を決めた理由は「病気は自己の免疫で治す」という治療の基本姿勢に納得したからです。

初診では、松本先生に信頼を持つことができました。松本先生の医療に対する強い信念のようなものを感じたからです。まずはアシクロビルを 1 日 12 錠と漢方の煎じ薬、また腹部の張りもあったのでフラジールを処方していただき、鍼灸治療も受け、家でもお灸をしました。鍼灸の効果は直後に感じられるのでスゴイと思います。他にも便秘、立ちくらみ、疲れやすい、低血圧、肩こり、顎関節症など以前から何となく不調という感じがあったのですが、お腹の張り便秘はすぐに良くなり、フラジールは 2 週間の服用で終わりました。足の痛みは徐々に薄れてきているように感じていますが、心身の状況によって変動するように感じています。身体症状と自分の思考パターンや感情の流れは連動しているということを観察、分析、理解、納得できるようになってきました。身体や自己の内面に気を配ると、周囲の環境に過剰反応しなくなるように思いま

す。

現在、多少の足の痛みが残っていますが 8 割ぐらいは治りつつあり、だんだん量を減らしていたアシクロビルを自己申告により 4 ヶ月程で服用をやめました。

- ・ 痛みの原因はヘルペスと免疫との闘いであること。
- ・ これまで服用していた花粉症や鎮痛剤などの薬と、ストレスにより免疫力が下がり、ヘルペスが増えていたこと。
- ・ 自己免疫力を上げて、自然後天的免疫寛容を目指すこと。

以上 3 点に留意して、今後は自分で日々気をつけてコントロールしていけるのではないかと思ったのでアシクロビルをやめました。抗ヘルペス薬に保険が適用されない事をとて疑問に思います。医療の世界はよく分からないですが、既存の枠というのは分厚く強固なものだと思います。しかし既存の枠の外でも「追究され続けて、人々を助けてきたもの」は必ず腐敗した枠を壊す時が来ると歴史が証明しています。大変なことだと思いますが……。とにかく患者さんの手記はとても重要です。

今後またストレスを溜めてしまって各症状が悪化することがあるかも知れませんが病気になった時、原因と対処方法を明確に知ることができるのは何よりも心強く、安定した心を保つことができます。道は一本なので迷うことがなくなります。現在スギ花粉の最盛期に入りつつありますが、毎年悩まされていた花粉症の症状がまだありません！漢方薬と鍼灸でもっと免疫をあげてこの後のヒノキ花粉にも備えます。

松本先生、ありがとうございます。今後も宜しく願いいたします。